

鷹取山自然観察会会報

2023.12.10 NO.42

巣箱の掛け替え —令和5年11月—

1 巣箱の掛け替え

当会では 2013 年から野鳥の保護を目的に毎年巣箱掛けを行っています。

現在 10 個の巣箱が掛かっていて、毎年、巣箱の掃除及び利用状況を調べ、再度巣箱掛けをしています。

今年は 11 月 24 日に鷹取山公園に会員有志 5 名が集まり、午後 12 時まで巣箱の掛け替え作業を行ったので報告します。

当日は巣箱の利用状況を調べ、巣箱の中を掃除し、再び木に掛けました。巣箱の位置は地面から 2~3 メートルの高さで、周囲に枝がなくて見通しがよい場所としました。天敵のヘビなどに侵入されにくい場所を選定しています。

2 利用状況

昨年まで 16 個の巣箱を掛けていましたが、利用率の悪い六浦側の巣箱を撤去しました。現在は 10 個の巣箱を掛けています。今年の巣箱の利用状況は、表 1 のとおりで 10 個のうち 4 個が利用されていました。また、コケなど巣作りした形跡があったものが 2 個ありました。今年の利用率は 40% (昨年は 13.3、一昨年 26.7%) でした。他の地域の巣箱利用状況などを調べてみると 30~50%程度です。



写真1 巣箱の設置

表 1 巣箱の利用状況

	利用の状況	巣箱掛けした木	備考
1	○	ウラジロガシ	コケ、羽毛、キイロスズメバチ
2	○	コナラ	コケ、羽毛
3	×	オオシマザクラ	ドロバチの巣が入っていた
4	○	センダン	コケ、羽毛
5	×	ムクノキ	—
6	△	ソメイヨシノ	コケなど巣作りした形跡あり、蟻、サシガメ
7	×	ソメイヨシノ	—
8	○	ソメイヨシノ	コケ、シュロ、羽毛、草の香り
9	△	ムクノキ	コケなど巣作りした形跡あり、
10	×	ミズキ	—

2015 年からの利用状況は図 1 のとおりです。これで見ると 2021、2022 年は利用状況が悪かったのですが、今年は 40%と良くなっています。巣箱の利用状況はシジュウカラ、ヤマガラの数に関係していると思われませんが、理由は判りません。

3. 巣箱の中

巣箱は上蓋が開くように作っており、蓋を開け確認しています。写真 2 では巢の材料はコケが主体です。巢穴は直径 3 cmにしてあるので利用したのはシジュウカラ、ヤマガラのいずれかと思われます。

また、来年も鳥たちが巣箱を利用してくれることを願っています。会ではモニ 1000 里地調査として毎年 12 月から第 1、3 金曜日に鳥類調査を行っていますが、巣箱の利用状況も継続して観察していきます。

巣箱の掛け替えに参加した人
本多、三科、北村、伊沢、弦間
(順不同、敬称略)

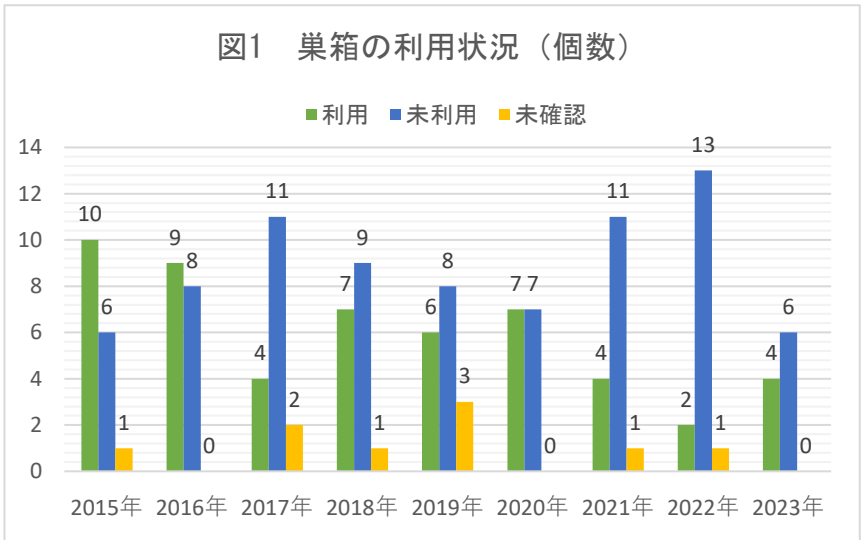


写真2 巣箱の中



写真3 ドロバチの巣

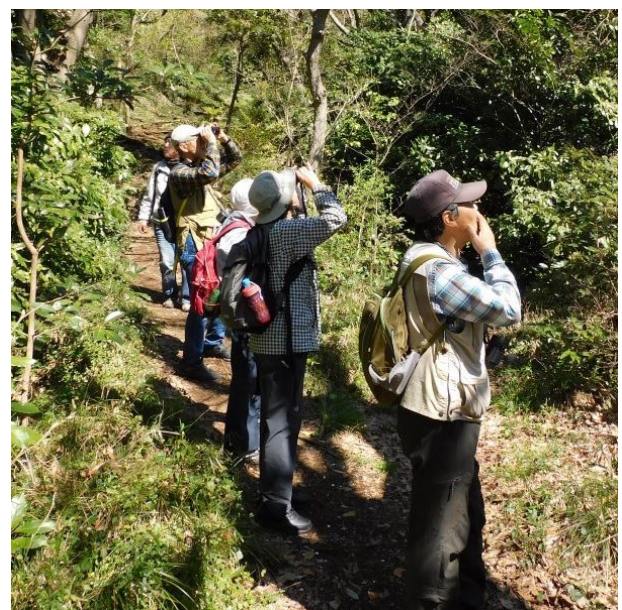
お知らせ 鳥類調査とバードウォッチングを開始します

鳥類調査に参加しませんか。当会では 2014 年から毎年、会員有志で鳥類調査を続けています。

調査期間は比較的観察しやすい越冬期（12 月～3 月まで第 1、3 金曜日）、繁殖期（5 月、6 月の間 3 日間）の 2 期間で調査を行っています。

鳥の名前がわからない方も大丈夫です。散歩の途中で聞こえる鳥の鳴き声に関心を持つといいですね。

越冬期の調査の集合場所は、午前 9 時 30 分 西友鷹取店前 調査は約 2 時間で終了します。なお、繁殖期の調査開始は早朝 6 時 30 分開始になります。こちらは少し早起きしてください。参加される方は双眼鏡をお持ちください。



双眼鏡の使い方

(1) 目当てリングの位置を調整します

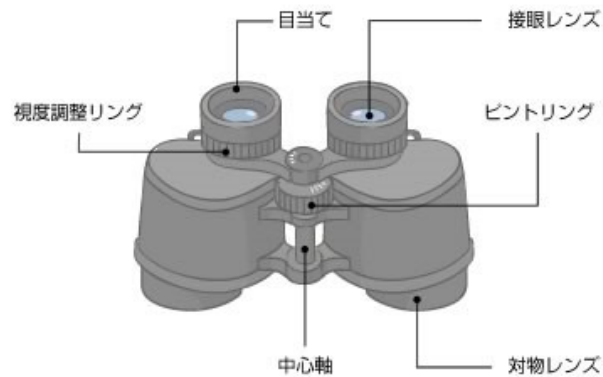
接眼レンズ（のぞく側）に目当てリングがあります。このリングは裸眼で使用する場合は引き出し、眼鏡を掛けて使用する場合は収納状態で使用します。

(2) 目幅を合わせます

両手で双眼鏡の本体を持ち、両方の目でのぞきます。両目で見える「円」が重なって見えるように調整します。双眼鏡の結合部をたたむようゆっくり動かします。合っていないと両眼で見ていない状態になり、不快な感じや目の疲れなどの原因となります。

(3) 左右の視度を合わせます

- ① まずピントを合わせるために（1点）目標になる物を決定します。
- ② 左目だけで双眼鏡をのぞき、双眼鏡の中心にあるピントリング（製品により場所は異なります）を回してピントを合わせます。
- ③ 次に、右目だけで双眼鏡をのぞき、接眼レンズにある視度調整リングを回して視度を合わせます。



自治会等の自然観察会（報告）



左は西友鷹取店集合写真
右は観察会の写真



湘南鷹取3丁目自治会の観察会

湘南鷹取3丁目自治会の自然観察会

当会では横須賀市の事業「よこすか環境教室」に登録しています。今回、この事業に基づいて湘南鷹取3丁目自治会から当会に派遣依頼があり、実施したので報告します。

観察会は、9月20日、自治会住民20名が参加して実施しました。観察コースは西友鷹取店に集合し、磨崖仏、展望台方面を観察しました。

20名と参加が多かったので、1班10人で2名がガイドしました。また、鷹取山自然観察ガイドブック及びリーフレットを配布して説明したのでわかりやすかったと思います。

自治会から、今回秋の自然観察であったが、できれば来年春に観察会を実施したいとの意見を頂きました。

田浦コミセン

「自然観察会～鷹取山に咲く秋の花～」

田浦コミュニティセンターからの依頼を受け、観察会を行ったので報告します。

観察会は、11月13日月曜日13名が参加して実施しました。観察コースは追浜駅～西友鷹取店～磨崖仏～東屋～西友鷹取店で解散しました。

参加者の方からは、「木や実、小さな花は見逃すことが多いので説明付きで歩いてとてもよかった。」、「樹木、植物の多さにびっくりした。」、「鷹取山が身近になりました。」、「歩いてるだけでは通り過ぎてしまっていた野草などを知ることができて大変興味深かったです。」など感想を頂きました。

以上、湘南鷹取3丁目自治会の自然観察会、田浦コミセンの自然観察会については中村さんと本多の2名で行いました。

2つの観察会の実施に伴い、謝金を頂きましたが会の方に寄付いたします。



田浦コミセンの観察会

「鷹取山の自然観察ガイド（樹木編）」

鷹取山自然観察会ではこれまでに「鷹取山の自然観察ガイド」として春夏編、秋冬編を発行してきましたが、今回は鷹取山自然観察ガイド（樹木編）を発行しました。

鷹取山は2022年に「神奈川の美しい広葉樹林50選」に選ばれた、自然環境の残された場所です。

当会では環境省が主催するモニタリングサイト1000里地調査に登録し、これらの調査から、鷹取山周辺で約200種の樹木を確認していますが、このガイドブックではそのうち190種の樹木について特徴などを紹介しています。



このガイドブックを契機に、多くの方が鷹取山の自然について関心をもっていただけると幸いです。なお、当会では2022年度かながわボランティア活動奨励賞を頂き、その賞金の一部を使い印刷費に充てました。

このガイドブックは、A5版フルカラー164ページ、一冊、500円で有償配布しています。毎月の自然観察会（第二日曜日）で販売するほか、コミュニケーションフェス湘鷹みんなの部屋（西友湘南鷹取店前）で販売しています。ただし土曜、日曜、祭日はお休みです。

購入者から次の感想がありました。

「三浦半島によくある樹木ということなので、コンパクトで利用しやすいです。そしてその樹木の、冬芽から果実まで、季節ごとの写真もきれいです。説明文も短いのですが的を得ていると思いました。」「色々な時期の写真があって、しかも正確で、とても参考になります。」「私は鷹取山の近くなので季節毎に鷹取山に歩きに行きますがこんなに多くの木々が有るとは知りませんでした。」

鷹取山散策のお供に

市民団体 樹木のガイド本作成

横須賀市北部と逗子市の境にある鷹取山（標高139m）の散策に役立ててもらおうと、市民団体がガイドブックを作成した。同山周辺で見られる約190種類の樹木について、写真と説明文で紹介している。

ガイドブック「鷹取山の自然観察ガイド（樹木編）」をまとめたのは、同山で毎月、自然観察会を開き、植

物や野鳥などの調査も行っている市民団体「鷹取山自然観察会」。同山を広く知ってもらうため、これまで季節ごとに咲く花や見られるチョウ、野鳥を中心に紹介したガイドブック2種類（春夏編、秋冬編）を発行している。

今回の樹木編は、見られる樹木の科名や、花や葉、樹皮などの写真、特徴を記した説明文を掲載した。同会世話人代表の本多久男さん（75）は「樹木は冬芽や花、実など一年を通じて観察できる。ガイドブックを片手に身近な自然を知り、保全にもつなげてほしい」と話している。

同山は県の生物多様性ホットスポットに選ばれ、2022年に横浜国立大が選定した「神奈川の美しい広葉樹林50選」にも名を連ねる。本多さんは「鷹取山は住宅地に近い場所だが緑が多く残っている。アクセスも良く、豊かな自然と触れ合える」と話す。

ガイドブックはA5判オールカラー164ページで、1冊500円（別途送料310円）。申し込み・問い合わせは、同会の電子メール（takatori_0721@nifty.com） #630

（鈴木 昌紹）



「ぜひ鷹取山の自然を知ってほしい」とガイドブックを手にする本多さん

神奈川新聞 2023.10.28 掲載

植物の盗掘被害など

今年は猛暑と雨不足によって植物が生育不足になっています。秋に咲くノコンギク、シロヨメナ、コウヤボウキなどは元気がありません。また、秋に実をつけるガマズミ、ムラサキシキブ、カマツカなど、実の付きが例年になく悪くなっています。

この周辺では数の少ないサラシナショウマ、ワレモ

コウ、ツルニンジン、ツリガネニンジン、シシウドなどは刈り取られたり、最近では株ごと取られたり盗掘被害が目立ちます。

夏に咲くオカトラノオも少なくなりました。毎年花が見られる場所で花が見られないのは寂しいものです。



上左から オカトラノオ、ワレモコウ、ツルニンジン、サラシナショウマ、ツクバトリカブト、シシウド、アキノキリンソウ、センボンヤリ、ツリガネニンジン、キンラン、ガガイモ、キクアザミ

当会では、毎月植物相調査を行っていて、蕾、花、実の状態を調べていますが、鷹取山の植物相を長期的にみても絶滅する種が多くみられます。その原因は生育場所の減少、植生の変化、過度の草刈り、盗掘です。

また、会報 38 号で報告しましたが、自生のガガイモ、イシミカワなどが刈り取られて姿を消しています。展望台周辺で群落があったセンボンヤリも数が少なくなっています。ここで取り上げたものは一部ですが、このままでは多くの種が姿を消してしまうのではないのでしょうか。

鷹取山自然観察会では、「鷹取山のマナー」の看板

と「鷹取山の自然を大切に」のリーフレットを作成し、鷹取山公園に配架して啓発活動をしています。

今後も、貴重植物の保護活動として、保護柵の設置と自然保護の啓発活動を行っていきませんが、市民活動だけでは限界を感じています。

(文責:本多)



俳句

小島常義さんの俳句です。自然観察会に参加した折に作った俳句を投稿していただきました。

その中から三句紹介します。

十二月のテーマ

「落ち葉の種類を見分けよう」

山道を行くや褒美の冬苺

一月のテーマ

「冬を越す樹木とロゼットを観察しよう」

たんぽぽの冬草直と地に這へり

二月のテーマ

「冬鳥の観察と冬芽を観察してみよう」

芽吹きはや接骨木の枝に始まりぬ



冬苺



たんぽぽ



接骨木

セミの鳴き始めと鳴き終わり

中村さんのご紹介で、山田さんから、セミの鳴き始めと鳴き終わりについての貴重なデータを寄せていただきました。山田さんは、鷹取山周辺で聞くことができる6種のセミについて、1990年からずっと記録をつけて来られました。以下に、山田さんからいただいたコメントとデータをそのまま掲載します

山田さん、ありがとうございます。

「セミの鳴き始めと鳴き終わり」 山田 響

いつも観察会会報を贈ってくださってありがとうございます。楽しく読んでおります。今号 (No. 41) の市川さんの”クマゼミのこと”を拝読して、小生の記録を整理しようと思立ちました。

かなりいい加減な記録ですが、1990年 (平成2年) から、手帳に生物に関する気づき・天候・気温などを記入してきました。

セミについては、主に自宅 (湘南鷹取2丁目) で、あるいは自宅周辺で鳴き声に気づいた日に種名を記

録したものです。クマゼミは鷹取小学校校庭のメタセコイアに集まって鳴くのが今でも普通です (抜け殻があるとしたら、磨崖仏から第1トンネル脇へ降りる廃道沿いではないでしょうか)。観察路 B→E に沿って山道を汐見台方面へ毎年鳴き進んでいるように感じます (2014年頃から)。今年初めて自宅前のケヤキ街路樹で鳴きました。“とうとう山から降りたか”と思いました。

今年、アブラゼミ・ミンミンゼミ・ツクツクホウシは昨日 (9/15) まだ2・3丁目山道から聴こえています (アブラは9/1と9/15-16のみ)。

市川さんのおかげで、ちょっと意味のありそうな“まとめ”が出来ました。ニイニイの聴き終わりは、8月のアブラ・ミンミンの盛況な頃で、聴き分けが難しいです。本当はもっと後まで鳴いているのではと感じています。

市川さんにお伝えいただけたら幸いです。
(2023. 9. 16)

表1 湘南鷹取2丁目自宅前および周辺でのセミの鳴き声～聞き始めと聞き終わり日～

西暦	ニイニゼミ		ヒグラシ		アブラゼミ		ミンミンゼミ		クマゼミ		ツクツクホウシ		備考
	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	
1990	7/8		7/8	9/2	7/28	9/22	7/22	9/22	8/11※		7/27	9/22	※マンションQ棟付近
1991	7/20※		7/20※		7/20	9/23	7/21	9/23			7/27	9/28	※鳴き声確認のみ
1992	7/25		7/25			9/23	7/31	9/13			8/13	9/23	
1993				8/24		9/30	8/12	10/3※			8/14	9/26	※鷹取山頂上付近
1994	7/3※		7/3※		7/23	9/18	7/24	9/20			7/30	9/23	※最高気温35.4°(横浜)
1995	7/22		7/30		7/29	10/1	8/1	9/25	8/26	9/10		10/15	
1996	7/17		7/24	8/30	7/29	8/15	7/24	9/20				9/20	
1997	6/29※		7/1		7/18		7/25				7/23		※二子山
1998	7/6		7/7		7/23		7/25		8/3		8/4	9/19	
1999	7/15		7/15		7/20	9/26※	7/28				8/8	9/26	※10/2第2トンネル上でアブラ
2000	7/7		7/16		7/27		7/30				8/7	10/4	
2001	7/8※		7/16		7/24		8/23				8/10		※森戸川源流域
2002	7/9		7/18		7/23	10/4	7/24	9/21			8/5	10/4	
2003	7/22		7/11	9/5	7/26	10/12	7/25※	9/27		9/2	8/21	10/2	※平成町、自宅では7/27
2004	6/24		7/10	8/24	7/11※	10/6	7/19	9/24	7/27	8/19	7/31	10/1	※自宅で♀羽化、鳴き声7/14
2005	7/10	8/16	7/18	8/14	7/28	8/24	7/26	9/20	8/10	8/20	8/9	10/3	
2006	7/15	8/22	7/17	8/27	7/23	9/27	7/24	10/8	8/19	8/29	8/7	9/21	
2007	7/7	8/28	7/16	9/1	7/22	9/25	7/26	9/23	8/8	8/15	8/1	10/15	
2008	7/10		7/20		7/29	9/26	7/19	9/23	8/8	8/27	8/12	10/10	
2009	7/11	8/22		9/6	7/20	9/29	7/24	9/25	8/1	8/22	8/3	9/28	
2010	7/26	8/12	7/21	8/20	7/24	9/21	7/31	9/22	8/10	9/1	7/24	10/3	
2011	7/6	8/14	7/23	9/2	7/24	9/29	7/26	9/24	8/5※	8/29	8/12	10/7	※8/8鷹取中学校庭奥の公園
2012	7/9	8/17	7/27	8/24	7/25	9/24	8/1	9/27	8/11	9/8	8/6	10/4	
2013	7/8	8/16	7/20	8/16	7/23	9/21	7/13	9/22	8/2	8/20	8/1	10/8	
2014	7/12	8/11	7/15	8/22	7/22	9/10	7/22	9/26	8/4※	8/24	8/7	9/29	※9時頃2丁目山道で
2015	7/13	8/12	7/22	8/18	7/22	10/4	7/20	9/21	7/27※	8/23	7/25	10/4	※2・3丁目山道で
2016	7/2	8/8	7/18	8/24	7/18	9/17	7/16	9/26	7/23	8/24	7/27	9/30	
2017	7/1	8/12	7/19	8/25	7/20	9/30	7/26	9/30	7/20	8/28	8/4	10/3	
2018	7/2	8/11	7/12	8/14	7/18	9/17	7/15	9/18	7/20	8/25	7/25	9/30	
2019	7/17	8/31	7/29	8/25	7/25	10/3	7/29	9/26	8/4※	9/1	7/29	10/13	※2丁目山道で
2020	7/10	8/20	7/22	8/26	7/23	9/9	7/26	9/16	8/3※	8/22	8/6	10/12	※2丁目山道で
2021	7/31	8/6	7/31	8/19	7/14	9/21	7/31	9/20	7/29	8/29	7/16	10/11	
2022	7/7	8/17	7/17	8/29	7/22	9/16	7/23	9/17	7/18	8/27	7/31	9/26	
2023	7/10	8/9	7/14	8/24	7/18	9/17	7/20	9/22	7/19※	8/29	7/26	10/3※ ※	※8/16自宅前のケヤキで、 ※ガラムキ付近

※ 自宅の庭（湘南鷹取1丁目）では、2008年頃から毎年クマゼミが羽化しています。会報37号3ページのクマゼミ羽化の写真は、夕方庭を歩いていた幼虫が羽化するのを室内で撮影したものです。山田さんに感謝しつつ、山田さんを見習って、きちんと記録しなければいけないと深く反省しました。（三科清高）

鷹取山自然観察会（ホームページを見て下さい）

HP：鷹取山自然観察会

<http://takatoriyama.eco.coocan.jp/>